

**製品名: ERBB3 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM80758**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	148kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ERBB3
別名	HER3; c-erbB3
遺伝子 ID	2065.0
SwissProt ID	P21860
免疫原	HEK293 細胞で発現した hIgGFc タグと融合したヒト ERBB3 (aa22-369) の精製された組み換え細胞外断片。

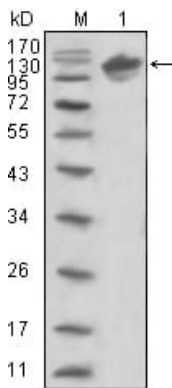
## 背景

ERBB3 (v-erb-b2 赤芽球性白血病ウイルス癌遺伝子ホモログ 3、鳥類)。上皮成長因子受容体 (EGFR) ファミリーの受容体チロシン

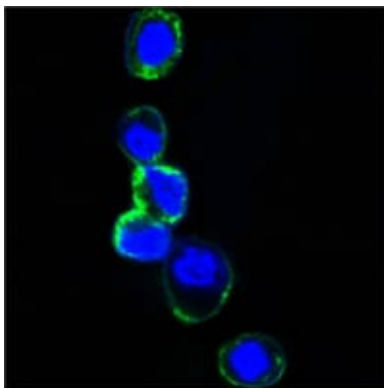
キナーゼの一員です。この膜結合タンパク質はニューレグリン結合ドメインを有しますが、活性キナーゼドメインは有しません。そのため、このリガンドに結合することはできませんが、タンパク質リン酸化を介して細胞内にシグナルを伝達することはできません。しかし、キナーゼ活性を持つ他の EGF 受容体ファミリーメンバーとヘテロ二量体を形成します。ヘテロ二量体形成は、細胞増殖または分化につながる経路の活性化につながります。この遺伝子の増幅および/またはタンパク質の過剰発現は、前立腺がん、膀胱がん、乳がんなど、多くのがんにおいて報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。1つのアイソフォームは膜間領域を欠き、細胞外に分泌されます。この形態は膜結合型の活性を調節する働きをする。追加のスプライスバリエントも報告されているが、それらは十分に特徴づけられていない。

## 研究分野

## 画像データ



ERBB3 マウス mAb を用いた、ヒト ERBB3 (aa22-369) -hlgGfc を導入した HEK293 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析 (1)。



ERBB3 マウス mAb (緑) を用いた、細胞外 ERBB3 (アミノ酸 22-369) -hlgGfc を導入した HEK293 細胞の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。